

今回は一泊二日の日程で20番鶴林寺から29番国分寺までを巡礼しました。

昭和？年に生まれた同級生は、現在男子生徒が両手に余るほど私たちの目の前から居なくなりました。ただし女子生徒は全員元気。男子生徒が私たちに何を教えてくれているのかと考えているうちに、生まれて今まで生きてきた過程で随分無理をして、人に迷惑をかけてきたことに気が付きました。そんな時健福大同窓会で四国巡礼が企画され参加させていただきました。

五回目となる今回は4月18日広島を出発する頃から曇りとなり、途中から雨となり、20番鶴林寺までは長い行程でしたが、先達さんから途中退屈しないように巡礼にまつわる実際にあった不思議なお話をしてくださり、お陰で車中は和やかな雰囲気ですごすことが出来ました。最初に伺ったときは半信半疑でしたが、体験記の本を見せていただき改めて感動することとなりました。

西日本最大規模(618m)のロープウェイに乗り二つの山を超え21番太龍寺を目指した。眼下で日本狼のお出迎えを受け、また雨に煙る幻想的なお大師像は特異な雰囲気をかもし出すように思えた。急な階段を登って寺での参拝は雨の中蠟燭や線香への点火が大変でした。読経に際しては、さすが五回目で手馴れた手順で気持ちもひとつになったように思いました。

23番薬王寺では本堂に続く厄坂と呼ばれる石段があり、女坂33段と男坂42段を息を切らして登り切りました。ホテルに着いたときの安堵感からか食事も進み、出された般若湯の美味しかったことが旅の疲れを癒してくれました。また興が乗った参加者からは自慢の「のど」の競演で、さぞかし弘法大師さまもビックリされたことと思いました。初めての宿泊旅行となった今回は参加者との交流で宴会会場や浴室、部屋で病歴や孫の話で時間を忘れて話が弾み一気に仲良し仲間となりました。

4月19日は前日と打って変わって快晴となり前日の疲れも忘れ元気に六ヶ所の寺巡りに出発。先達さんから恒例となったお話で24番最御崎寺の「くわずいも」の逸話や、石でありながら金属音のする不思議な「鐘石」の音色を聞き、26番金剛頂寺では「一粒万倍の釜」をのぞき、また27番神峯寺では全国でも有数の美味しい水を頂きました。

最後になりましたが、雨の中おもしろい納経帳や掛け軸を持って石段を登っていただきお世話くださいました福井様にはこの書面をお借りして御礼申し上げます。